

わかあゆ支援学校跡地を障がい児・者の総合支援拠点として  
 利活用する基本的考え方（案）に関する意見募集／意見の概要と本市の考え方

○意見募集期間：令和5年12月26日（火曜）～令和6年1月22日（月曜）

○結果：提出者11名、意見29件

番号	種別	意見の概要	本市の考え方
1	全般	障がい福祉分野の施策は公でなければやれないことが多いと思いますので、実行までスピード感を持ってやってほしいと願います。	宮崎県より土地・建物を購入した上で、まず第1期で予定している機能について、既に耐震工事がなされている建物から順次整備していきたいと考えております。 そのため、取得前の段階から必要な取り組みを行い、拠点整備が迅速にスタートできるよう進めていきます。
2	全般	「ごちゃまぜにつながる」という基本的考え方ですが、一か所に関係機関を集約すれば、ワンストップで課題解決できるとは限りません。職員が繁忙・多忙または不在であれば、その場では話が完結せず出直し、待機が発生します。	「ごちゃまぜ」には、障がいのある人もない人もともに共生社会をつくるという、まちづくりの理念もこめられています。 また、今回の整備の考え方は、今既に市内に存在している機能を一ヶ所に集約するという考え方ではなく、現在本市に十分整備・確保されていない機能を新たに整備・確保する考えであり、これまで当事者の方々や保護者の方々、支援者の方々などとの話し合いを積み重ねながら検討を行ってきていますので、ご指摘のような問題の生じないよう取り組んでまいります。
3	全般	市内中心部から離れた場所にすべてを設置することに違和感があります。本人や保護者が交通の便を確保できない場合、利用できなくなります。	マイカーで来られない方や視覚・聴覚障がいのある方などのことを十分考える必要がありますので、送迎サービスをしっかり行うことを考えています。
4	全般	第1期集うはわかあゆ支援学校跡地で良いと思いますが、第2期過ぎず、第3期暮らすの一部は、市役所本庁周辺（例：南別館、旧民族資料館）城山周辺（市駐車場）で対応していただきたい。 この一帯には延岡市役所や県の出先機関があります。相談内容や提供するサービスによって、むしろ効率的に支援できると考えます。施設入所・通所している本人や在宅者（含む児）及びその保護者が利用しやすい環境づくりに配慮すべきことを提案します。	現在十分に確保されていない機能を新たに整備するためには土地が必要ですが、中心市街地にはそのための土地を確保することは難しい現状にあります。 送迎サービスをしっかり行うことで、利用しやすい環境づくりを行っていきたいと考えております。

5	肯定的な意見	<p>延岡市の福祉の拠点並びにシンボルになるのではと思います。</p> <p>幼児から高齢者までが一度に集える場所としてこれから最も必要となる場所ではないでしょうか。障がい児を持ったお母さんたちや、一人暮らしの高齢者を、孤独にさせないそんな場所となってほしいです。</p> <p>ヘルパー養成所があり、研修のためにグループホームあり、寝たきりになるまでの少しの間、同じ障がい者の仲間で笑って過ごせるそんな場所が欲しいです。</p>	
6	肯定的な意見	<p>障がいのある方もない方も、つながれるコミュニティ施設ができれば、市民の皆さんの心の拠り所ができると思います。</p> <p>専門の相談窓口や就労支援、研修等の支援の場ができれば、将来に希望が持てます。様々なイベントやサービスでの交流も楽しいイメージが湧いてきました。延岡市全体が明るくなり、活気づくことが期待できそうです。</p>	<p>これまで市では、障がいのある方やそのご家族、支援機関の方々、有識者の方々との話し合いを積み重ね、現在本市で十分整備されていないものの必要性の高い機能等を整備する考えのもと、このたびの「基本的考え方」をまとめました。</p> <p>その中で、障がいのある方の支援を行うだけの拠点ではなく、障がいのある方もない方も安心して暮らすことのできる地域社会づくりに向けて、「『衣・医・食・職・住』ごちゃまぜでつながる安心創造拠点」をコンセプトに整備することとしており、今後の実現を目指して、事業費や運営費などの試算や事業手法の検討などを行うことにしています。</p>
7	肯定的な意見	<p>とても良い案だと思います。</p> <p>障がい児・者だけでなく地域住民も利用できる施設があること、さらにそこで様々な人との繋がりができること、みんなで支え合える場所があることは、素敵なことだと思います。</p>	
8	肯定的な意見	<p>我が家には、自閉症スペクトラム、知的障がいの5歳の子供がいます。今後、進学や就職する中で、どのようになっていくのか、見えない未来に不安を感じていますが、このような支援拠点があれば、つまづいても安心して子育てできると思いました。</p>	
9	肯定的な意見	<p>「親なき後の暮らし支援策」というこの文章の一節に目が止まりました。私の従兄弟の子供が重度の身障者で、両親の看護がなければ生活できません。両親も年をとり、お世話も大変になっています。親は、どうしても子供より先に亡くなります。親として子供をこの先いつまで見守れるのかといつも考えていると聞きます。</p> <p>今回の資料を拝見させていただきましたが、私は重度の身障者の方とその親達が安心して一生を終えることができるような施設を作っていたきたいと願います。</p>	<p>全ての機能を一気に整備することは難しいですが、第1期から第3期の3期に分けて、段階的且つ着実に必要な機能を整備し、安心と温もりのまちづくりを進めてまいります。</p>

10	肯定的な意見	障がい福祉分野の施策であり、専門家や様々な団体の意見を取り入れ、時間をかけて検討されており素晴らしい計画だと思います。	<p>今回の「基本的考え方」は、障がい者の方々やそのご家族の方々、支援機関の方々、有識者の方々などと検討を重ねながら取りまとめたところです。</p> <p>今後、事業費や運営費の試算、事業手法の検討等を行い、実施を目指してまいります。</p>
11	土地・建物	宮崎県との土地・建物取得交渉において、負の遺産（アスベストやヒ素等）に関しては、あくまでも現所有者の費用負担が基本だと考えます。	<p>拠点整備にあたっては、既存建築物の解体やアスベスト調査、環境対策などの課題やそれに伴う経費の問題について結論を得る必要がありますので、引き続き宮崎県と協議を行ってまいります。</p>
12	土地・建物	なぜわかあゆ跡地を選んだのか、そのメリット・デメリット及び概算の事業費等が明確化されていないように思う。	<p>わかあゆ支援学校は、もともと障がいのある児童が通学していたため、建物内がバリアフリー構造であることや、周辺には障がい者の就労支援事業所等が立地しており、地域の方々の障がい児・者に対するご理解も深いものと考えられることなどから、拠点整備の具体化の場所として選定を行いました。</p> <p>また、障がい福祉に関して、現在本市に十分整備されていないものの必要な機能等を整備するためには、一定の面積の土地が必要となりますが、市内の他の場所には必ずしも十分な土地はないところです。</p> <p>事業費等については、今後試算を行っていきますが、まずは今回「基本的考え方」をしっかりと固める必要があるため、パブリックコメントを行ったところです。</p>
13	土地・建物	施設が古いので、耐震性が心配です。取り壊し部分以外も安全なのか、設備や環境を整えるための予算は大丈夫なのか、なども気になるところです。	<p>わかあゆ支援学校跡施設の中には、教室棟など既に耐震工事が行われ、耐震基準を満たす施設も多くありますので、それらについては、できるだけ有効活用を図りたいと考えています。</p> <p>また、耐震基準を満たさない施設については、取壊し等が必要と考えており、その経費については、県との取得協議の中で、その経費が適切に反映されるよう協議を行っているところです。</p> <p>事業費等については、今後試算を行い、その結果等は後日改めて公表していきたいと考えております。</p>

14	人材確保	職員は、主任クラスを市職員とし、高齢者の無償ボランティアを募集する。	福祉分野における人材不足の現状も鑑み、拠点整備については、第1期から第3期に分けて段階的に行う考えであります。 また、第1期から事業所や法人が入れるテナントの整備とともに、ITスクール・各種研修などの学ぶ場の整備を行うことにしていますが、これもまさに人材不足の現状を考えた取り組みであります。
15	人材確保	福祉分野では、人手不足が懸念されています。人材確保が可能という前提であれば、問題はありません。	さらに、延岡市では令和5年度から障がい者雇用を倍増（600人→1200人）する目標を掲げております。延岡市より人口が少ない市でも、1500人近くの障がい者雇用を実現している事例もあることや、企業の法定雇用率が段階的に引き上げとなるなど、障がいのある方が就労において活躍できる機会が増えていることから、即戦力かつスムーズな就労に繋げることができる取り組みについても検討していきます。
16	整備する機能	昼間の施設として農業用地、体育館（交流）、運動場（散歩）、散髪店（障がい者の免許保持者）、マッサージ店（障がい者の免許保持者）、浴場（障がい者が運営）、図書館、ITスクール（居住者・市民一般が共に学ぶ）、不登校児の支援。	
17	整備する機能	食堂は居住者の3食用、外来者の休み、交わりのための飲食店としても活用。	市としましては、「集う」場、「過ごす」場としての機能についても整備する考えであり、拠点整備のコンセプトとして掲げている、障がいのある・なしを問わず、地域住民の方々も含め、多くの方々に日常的に利用していただく機能やサービスについても、可能な限り盛り込んでいきたいと考えています。 今後、事業費や運営費等の試算や事業手法等も含め、さらに検討していきますが、その中で、ご指摘の点も含め、障がいのある方々やその家族の方々、地域住民の方々や事業者等との意見交換を行いながら、検討を進めていきます。
18	整備する機能	診療所は、曜日を決めた出張診療。	

19	整備する機能	<p>障がい者（身体・ろう・知的・視覚）の成人者用（個人室・グループ室）として、障がい別に部屋を分けた住居を施設の中核にする（年毎の契約。体験としての入居であっても2～3ヶ月で必ず出るという決め方ではなく空室があれば継続できるようにする。）。</p>	<p>「暮らす」場としての機能については、第3期で整備する考えであります。</p> <p>具体的には、障がいのある方が暮らすグループホームや一人暮らし体験の場としての機能の他に、学生などの居住スペース、体験や研修に来た団体が合宿することができるスペースなどについても整備を進めて行く想定です。</p> <p>今後、事業費や運営費等の試算や事業手法等も含め、さらに検討していきますが、その中で、ご指摘の点も含め、障がいのある方々やその家族の方々、地域住民の方々や事業者等との意見交換を行いながら、検討を進めていきます。</p>
20	整備する機能	<p>感覚器障がいを持っている方々専用のグループホームを整備してもらいたい。</p> <p>特に視覚障がい者にとっては一般のグループホームでは生活する上で困難な現状が多くあり、障がいの特性に合わせた施設を要望されています。</p>	
21	整備する機能	<p>保護者支援。 ペアレントトレーニング・メンタルヘルス等人を支える。</p>	
22	整備する機能	<p>若年層や福祉以外の人が集まる。福祉が集まると利用したくてもいけない人も出ています。</p> <p>駅のように誰でも利用する場所。</p>	<p>障がいのある方もない方も安心して暮らすことのできる地域社会づくりのためには、障がいのある方の支援を行うだけの拠点ではなく、そのご家族、支援を行う専門職・ボランティア等、地域住民、学生や若年層の方などが「ごちゃまぜ」になり、拠点にいる方と「つながる」ことのできる拠点整備の方向性を目指しております。</p> <p>また、障がいのある方の保護者やきょうだい児などの家族支援として、拠点内で相談や学ぶことのできる取り組みの整備や、地域の適切な窓口への連携についても検討を行い、「繋がっていない不安」から「繋がっている安心」を作り出せるような拠点整備を進めていきます。</p> <p>併行して、障がいや年齢に関わらず利用してもらえるような機能やサービス、スポーツ設備、多目的広場、各種イベントなどについても整備・実施を検討していきたいと考えております。</p>
23	整備する機能	<p>障がい児・者だけでなく、その兄弟のケアも考えていただけたら嬉しいです。</p>	

24	整備する機能	交通の便について（地域住民と宮交バスとの話し合い）。	<p>拠点整備にあたっては、交通手段の確保についても検討を行う必要があります。</p> <p>そのため、今後交通事業者や地域の方々との意見交換も行いながら検討していきたいと考えております。</p>
25	整備する機能	避難場所としての活用	<p>市では、指定緊急避難場所や福祉避難所については、基本的には想定最大規模の浸水区域や土砂災害警戒区域を避け、指定しております。</p> <p>わかあゆ支援学校跡地は、ハザードマップ上、津波被害や土砂災害は想定されていませんが、風水害については、想定最大規模（1000年に1回程度の割合で発生する降雨量）洪水時の場合、校舎2階の床も浸水する可能性がハザードマップ上、示されている状況にあります。</p> <p>そのため、地震時の避難場所としての利活用は検討したいと考えております。</p>
26	整備する機能	震災が起きた時も安全に過ごせる場所があると、利用者、その家族も安心できると思います。	

27	IT・就労	<p>(仮称) 交流・相談・ナビゲーションプラザで働く人の子供を保育する施設(認可保育園、企業主導型保育園、託児所など)を整備してはどうか。</p> <p>人手不足解消のためにも働きやすい環境整備が重要になると考える。市として前述の保育施設も含め働く環境の整備についてどう考えているか伺いたい。事業者だけでは難しい所を市としてサポートしていただく必要があると考える。</p>	<p>ご指摘の点については、今後詳細な検討を行う中で、対応を検討してまいります。</p>
28	IT・就労	<p>ITスクール、シェアオフィス・デジタル団地について、まだまだ延岡市にはIT企業やITの仕事をしている人が少なく、市民はITの仕事に対してどんな仕事をするのかイメージが来ていないと感じる。また、ITスクールで学んだとして、延岡市で未経験で就職先を探すとなると厳しい。市民にITの仕事について身近に感じてもらい、延岡市でITの仕事を生み出していく点についてどう考えるか伺いたい。</p>	<p>本市では、政府からスマートシティに選ばれたことも追い風となって、新たにIT企業の新規事業所も14ヶ所開設されるなど、IT企業の集積が進んでおり、市内での入居物件を増やす必要も高まっています。</p> <p>また、ITスクールの必要性も高まっており、実際に令和4年度から「延岡ITカレッジ」が開設され毎年60人程度の方が学んでいます。</p> <p>障がいのある方にとっても、ITスキルを身につけることは、自宅での就労の可能性も含め、就労の可能性を大きく広げることになりますし、現在、企業の法定雇用率も引き上げられる中、ITスキルを持っている方には働く機会が増えていきます。その動きを捉えながら、必要な機能をしっかり整備していきたいと考えています。</p>
29	IT・就労	<p>ITスクールについて伺います。男女共同参画会議において女性デジタル人材育成プランが決定されていますが、延岡市では女性のデジタル人材育成についてどのように考えているか伺いたいです。また、地域女性活躍推進交付金の利用についてはどうか。</p> <p>IT企業に勤めており、在宅で仕事ができる点やフルフレックス制を導入している点などで未就学児童がいるが育児と両立して仕事が出来ている。延岡市の女性にITの知識を身につけ、経済的に自立することで選択肢が増えることを知ってほしい。</p>	<p>ITスキルを身につけることは、女性の活躍機会を増やす上でも大きな効果があります。</p> <p>既に市では令和4年度から「延岡ITカレッジ」を開設しており、また地域雇用促進協議会と連携して初級研修的な研修も数多く行っていますが、今後さらに力を入れていきたいと考えています。</p>